共同研究関係の英文記述

日本原子力研究開発機構・量子科学技術研究開発機構 施設使用共同研究で研究成果を発表したときは、共同研究の成果である旨明記していただくことになっています。共同研究制度の支援を受けて行ったことの証として、またこの共同研究をより盛り立てていくために、下記の例文を参考に忘れずに論文に記載して下さい。

東京大学大学院工学系研究科原子力専攻（専門職大学院）

：Nuclear Professional School, School of Engineering, the University of Tokyo

日本原子力研究開発機構・量子科学技術研究開発機構 施設利用共同研究

: The Inter-University Program for the Joint-Use of JAEA/QST Facilities

連携重点研究制度

：Inter-organization Atomic Energy Research Program

英文例

: This work was carried out under the Inter-University Program for the Joint-use of JAEA/QST Facilities, Nuclear Professional School, School of Engineering, the University of Tokyo, at the Research Reactor JRR-3, JAEA (Proposal No. #####).

: The gamma-ray irradiation was carried out using the QST (Takasaki) Co-60 facility Supported by the Inter-University Program for the Joint-use of JAEA/QST Facilities, Nuclear Professional School, School of Engineering, the University of Tokyo (proposal no. #####).

: This work has been supported by Inter-organization Atomic Energy Research Program in an academic collaborative agreement between the JAEA, the QST and the University of Tokyo (Proposal No. #####).

この研究は、東京大学工学系研究科原子力専攻　日本原子力研究開発機構・量子科学技術研究開発機構施設利用共同研究のもとで、JAEA研究炉JRR-3を用いて実施されました（課題番号##）。

ガンマ線照射は、東京大学工学系研究科原子力専攻　日本原子力研究開発機構・量子科学技術研究開発機構施設利用共同研究のもとで、QST（高崎）Co-60施設を用いて実施しました（ 課題番号#####）。

この研究は、東京大学工学系研究科原子力専攻　日本原子力研究開発機構・量子科学技術研究開発機構施設利用共同研究のもとで、連携重点研究制度（課題番号#####）によってサポートされています。